

トイレット (2010)

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本／カナダ

色彩 Color

時間 109分

初公開日 2010/08/28

公開情報 ショウゲート＝スールキートス

映倫 G

【キャッチコピー】

「みんな、ホントウの自分で、おやんなさい」

【解説】

「かもめ食堂」「めがね」の荻上直子監督が“家族”をテーマに手掛けたドラマ。今回は全編カナダ・ロケを敢行。それぞれに問題だらけでバラバラな3兄妹と、荻上監督作常連のもたいまさこ扮する日本人の祖母“ばーちゃん”が、奇妙な共同生活を経ながら家族としての絆を徐々に紡いでいく姿をユーモラスに描く。

引きこもりでピアニストの兄モーリー、厭世的でプラモデルオタクの弟レイ、勝ち気な大学生の妹リサの3兄妹。それぞれ好き勝手に生きてきた彼らも、母親を亡くしたことを機に彼女の遺した実家で同居することに。さらにそこには、猫のセンセー、そして母が亡くなる直前に日本から呼び寄せた3兄妹の祖母“ばーちゃん”もいた。英語の喋れない彼女は自室に籠もりきりで、トイレが異常に長く、出てくると何故か必ず深いため息をつく。そして、何かというと財布からお札を出しては孫たちに気前よく差し出す不思議な人。そんな、孫たちとは似ても似つかぬばーちゃんだが、3兄妹と交流を重ねていくうち、彼らの間には少しずつ絆が芽生えていく…。

【クレジット】

| | | | |
|----------------|---------------|-------------------|--------|
| 監督 | 荻上直子 | | |
| エグゼクティブプロデューサー | 尾越浩文 | | |
| プロデューサー | 小室秀一 | | |
| | 木幡久美 | | |
| | ショーン・バックリー | Sean Buckley | |
| 脚本 | 荻上直子 | | |
| 撮影 | マイケル・ルブラン | Michael LeBlanc | |
| プロダクションデザイン | ダイアナ・アバタンジェロ | Diana Abbatangelo | |
| 衣装 | 堀越絹衣 | | |
| 編集 | ジェームズ・ブロックランド | James Blokland | |
| 音楽 | ヴードゥー・ハイウェイ | Voodoo Highway | |
| フードスタイリスト | 飯島奈美 | | |
| 出演 | アレックス・ハウス | Alex House | 次男レイ |
| | タチアナ・マズラニー | Tatiana Maslany | 長女リサ |
| | デヴィッド・レンドル | | 長男モーリー |
| | サチ・パーカー | Sachi Parker | 謎の女性 |
| | もたいまさこ | | ばーちゃん |